

各位

アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2013
映画祭に UULA アワード新設 さらに共同製作プロジェクトが決定
音楽業界とショートフィルム業界を盛り上げる

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (略称: SSFF & ASIA)」(企画・運営: 株式会社パシフィックボイス 代表 別所哲也)は、株式会社 UULA (エイベックス・エンタテインメントとソフトバンクによる合弁会社 代表取締役社長 千葉龍平)とコラボレーションし、SSFF & ASIA 2013 のミュージック Short 部門に「UULA アワード」を設置しました。

さらに、SSFF & ASIA と、ソフトバンクモバイルのスマートフォン向け総合エンタメアプリ UULA による、音楽と映像がコラボレーションした若きクリエイターたちによるオリジナルショートフィルムの製作プロジェクトが決定。UULA アワードの受賞者1名には、この製作プロジェクトの監督の一人に選出され、完成した作品は UULA で独占先行配信されます。

UULA アワードは6月9日(日)に明治神宮会館にて行われるアワードセレモニーにて発表されます。

記



2010 年度受賞の常盤司郎監督



2012 年度受賞の岡本雄作監督

UULA アワード設置の経緯

映画も音楽も、多彩なジャンルの映像が詰まった総合エンタメアプリ UULA が、若手映像作家の登竜門である当映画祭の趣旨に賛同。音楽業界、映像業界のさらなる活性化、そして若手クリエイターの発掘を目的としています。

SSFF & ASIA ミュージック Short 部門とは

ショートフィルムの視点でセレクトしたアーティストのオフィシャルミュージックビデオと、音楽レーベル各社から正式エントリーされた楽曲をもとにクリエイターが制作したオリジナルショートフィルムを上映。ミュージックビデオから選ばれる優秀作品はシネマチックアワードとして、オリジナルショートフィルムの優秀作品は UULA アワードとして表彰されます。

UULA とは

映像コンテンツや音楽コンテンツ、さらには映像と音楽のコラボレーションをテーマにしたオリジナルコンテンツなど、多彩な6万以上のコンテンツが月額490円で見放題の総合エンタメアプリ。

【対応機種】SoftBank スマートフォン(X シリーズを除く/Android4.0以上) iPhone/iPad(iOS5.0以降)

【入会方法】ソフトバンク店頭 及び UULA 公式WEBサイト

店頭でのお申し込みでお試し1週間無料(初回加入時のみ、2013年8月末まで)

【公式サイト】<http://uula.jp>

以上

<メディアからのお問い合わせ>

エイベックス・エンタテインメント株式会社 デジタルコンテンツ宣伝部 第2宣伝ルーム TEL:03-5413-8664 FAX:03-5413-5380

【参考資料】

2010-2011 年 ミュージック Short 部門 特別製作作品

ショートショート フィルムフェスティバル & アジアの企画運営などを手掛ける株式会社パシフィックボイスでは、ショートフィルムの総合ブランド「ShortShorts」として、これまでに音楽×ショートフィルムの化学反応を目指すミュージック Short 部門の特別製作作品をプロデュースしてきました。完成した作品は、SSFF & ASIA で上映するほか、横浜のショートフィルム専門映画館ブリリア ショートショート シアターでの興行、海外映画祭への出品、スマートフォン向けのアプリによる配信などを行い、より多くの方に観て頂く環境も同時に創出してきました。今回の UULA アワードの設置と配信により、若手映像作家にとってさらなる可能性が広がりました。



「皆既日食の午後」

日本/14:34 / 2011

監督:常盤司郎 / アーティスト:Superfly / 楽曲:「Ah」

出演:濱田龍臣、新井浩文、南沢奈央、田口トモロヲ他

21年ぶりの皆既日食が訪れようとしている夏の午後、窓際で退屈そうに外を眺める少年の視界に飛び込む怪しげな人影。窓ガラスを割り、隣りの家に入ってゆくその男の姿に何故か心躍る。そしてその家に荷物を届けるため、車を走らせる宅配の中年男と無愛想なバイト娘。全く関わりのなかった男女3組が、何故か皆既日食のこの午後だけに会ってしまう。太陽と月が重なるように、小さな悩みを抱えた登場人物達の心が重なった瞬間、21年ぶりの贈り物が届こうとしていた...



「ゆっきーな」

日本/11:38 / 2010

監督:渡邊世紀 / アーティスト:大黒摩季

楽曲:「あなただけ見つめてる」

出演:木下優樹菜、亀石征一郎、稲川美代子 他

40年連れ添った妻を亡くした大物政治家。ある日、亡き妻の「友達」と名乗る「ギャル」が訪ねて来る。彼女に渡されたビデオ映像には、今まで見た事のない妻の姿が...



「ミステルロココ」

日本/13:30 / 2010

監督・脚本:日高尚人 / アーティスト:土屋アンナ

楽曲:「Brave vibration」

出演:佐津川愛美、猫ひろし 他

「小さい頃、私の夢はフランス人形になることだった」少し普通じゃない両親に溺愛され、か弱くてかわいいものだけを愛するようになったユリ(佐津川愛美)。そんなユリの前にある日突然現れたかわいい国の王子さまヒロ(猫ひろし)。運命の出会いを果たした2人は惹かれ合い、永遠にバラ色の日々が続かと思われたが...これは悲劇か喜劇かハッピーエンドかバッドエンドか、結末は決して口外しないでください!



「me,too」

日本/6:10 / 2010

監督:FROGMAN / アーティスト:LIL

楽曲:「me, too」

自分だけは違う。自分だけは特別だ!

人は誰も思うもの。しかしそこには超えられない壁がある。

ヒトオは、二代に渡って果たせなかった“映画監督”の夢を実現できるのか?

【SSFF & ASIA 2013 開催概要】

名称 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2013

主催 ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会

日程・会場

5月23日(木)、24(金)、6月7日(金)、8(土)

会場:東京スカイツリータウン® スペース634

5月31日(金)、6月1日(土) オールナイト上映

会場:TOHO シネマズ 六本木ヒルズ

6月1日(土)~6月5日(水)

会場:ラフォーレミュージアム原宿

6月6日(木)~6月8日(土)

会場:表参道ヒルズ スペースオー

ナショナルツアー

6月1日(土)~16日(日) (横浜開催)

会場:ブリリア ショートショート シアター

チケット価格(税込)

プログラム1日券 前売:1,300円 当日:1,500円

1プログラム券 前売:1,000円 当日:1,200円

パスポート 前売:4,000円 当日:5,000円

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2013 開催日程】			開催場所				
			東京スカイツリータウン	六本木	原宿	表参道	横浜
5月	23日 (木)						
	24日 (金)						
	25日 (土)						
	26日 (日)						
	27日 (月)						
	28日 (火)						
	29日 (水)						
	30日 (木)						
	31日 (金)						
	6月	1日 (土)					
2日 (日)							
	3日 (月)						
	4日 (火)						
	5日 (水)						
	6日 (木)						
	7日 (金)						
	8日 (土)						
	9日 (日)						
	10日 (月)						
	11日 (火)						
	12日 (水)						
	13日 (木)						
	14日 (金)						
	15日 (土)						
	16日 (日)						

各会場での上映プログラムについては、映画祭公式サイトに随時アップ致します。

チケット販売に関して

チケットぴあ各店店舗ほか 前売券発売日:5月11日(土)予定

当日券は映画祭開催期間中、東京スカイツリータウン(スペース634)、

ラフォーレミュージアム原宿、表参道ヒルズ スペースオー、

ブリリア ショートショートシアターの劇場窓口にて販売します。

オールナイト上映のTOHOシネマズ六本木ヒルズではご利用できません。

ショートショート フィルムフェスティバル & アジアについて

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

同年には当時の東京都知事、石原慎太郎氏の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA)を立ちあげ、現在はSSFFとSSFF ASIAという2つの映画祭が「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ27万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

また、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、メキシコ、マレーシアと海外に展開も重ねるほか、海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も積極的に行っています。本映画祭では、2007年に『MEI 美』がノミネートとなり、『台北の朝、僕は恋をする』で長編デビューをしたアーヴィン・チェン監督、『881 歌え! パパイヤ』がシンガポールで大ヒットとなったロイストン・タン監督、2010年に米国アカデミー賞にノミネートされた『マイレージ・マイライフ』のジェイソン・ライトマン監督など、本映画祭を経てチャンスを掴み、長編監督として成長していった例も少なくありません。今や第一線で活躍するこれらの監督のように、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭はこれからも応援していきます。

6月4日の「ショートフィルムの日」(日本記念日協会認定)は各会場、すべてのプログラムを無料鑑賞できます。
 <日程> 6月4日(火)
 <会場> ラフォーレミュージアム原宿
 ブリリア ショートショート シアター(横浜会場)



2003年映画祭のレセプションに参加した石原慎太郎氏(前:東京都知事)